

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第297号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月17日 12時00分ごろ	
発生場所	広島県呉市 音戸 ^{おんど} 灯台から真方位138° 1,540m付近 (概位 北緯34° 11.4′ 東経132° 32.9′)	
事故等調査の経過	平成21年11月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第三大^{だいきやう}共丸、299トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134756、池田海運有限会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底外板に凹損、両舷ビルジキールの曲損、プロペラの欠損及び曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、船首約3.2m、船尾約4.7mの喫水で、呉市音戸町にある荷役施設において、陸岸の水際から約6～7mの捨石があるところで、陸岸と平行に船固めして揚げ荷役を開始した。</p> <p>本船は、船首錨を4節及び船尾錨を3節投入し、陸岸への係留索を船首尾に各1本、中央部に1本使用して船固めをしていた。</p> <p>本船は、荷役中、風浪が強くなって船体が陸岸に寄せられて、平成21年5月17日12時00分ごろ、船底が捨石に接触した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 南、風力 5（最大瞬間風速約10.2m/s）</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期、波高 約1.5m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、音戸町にある荷役施設において、錨等により船固めをして揚げ荷役を行う際、投錨場所及び錨鎖の伸出量が適切でなかったため、風浪により船体が圧流された可能性があると考えられる。</p> <p>船長は、荷役施設付近に捨石があることを知っていたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、音戸町にある荷役施設において、錨等により船固めをして揚げ荷役を行う際、投錨場所及び錨鎖の伸出量が適切でなかったため、風浪により圧流されて船底が捨石に接触したことにより発生したものと考えられる。	